

アマチュア試打で
徹底検証

【アッタス】

SUNRISE RED

ATTAS RX SUNRISE RED

「アッタス」シリーズの中でつかまりのいい「サンライズレッド」、「リンク」シリーズの中でつかまりのいい「リンクレッド」。どちらもシリーズ中ではつかまるモデルだが、我々はどう選ぶのが正解？アマチュアが試打して確かめてみた。

写真／三木崇徳

※試打者はアマチュアのため、ボランティアでご協力いただきました

重量やフレックスを変えたら、
ベストなシャフトが見つかった

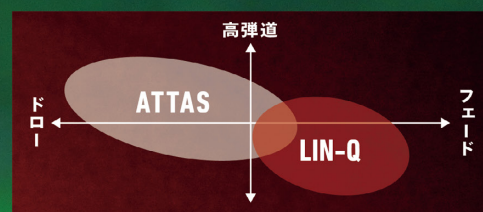
僕らに合うのは

どっちの赤系!?

【リンク】

LIN-Q RED

LIN-Q RED EX



LIN-QはPGAツアープレーヤーを視野に開発がスタート。ATTASシリーズと比べると、つかまりは抑えめで、より低スピで弾道も低くなる。だが、重量やフレックス次第で重なりあう部分もあり、ヘッドスピードだけでは選べないという

アマチュア試打で
徹底検証



ドローヒッター
村上正憲さん
41歳／平均スコア90



フェードヒッター
鈴木健介さん
33歳／平均スコア88

USTマミヤの2大ブランド「ATTAS」と「LIN-Q」。幅広いアマチュアをターゲットとした「ATTAS」に対し、「LIN-Q」はPGAをはじめトッププロの使用を前提に開発されたシャフト。そう聞くとアマチュアは「ATTAS」一択のような気がするが、ことはそう単純ではなかった!?

村上さん試打結果

6S	6S	5S
LIN-Q RED	SUNRISE RED	LIN-Q RED
ボールスピード 61.9m/s	ボールスピード 62.1m/s	ボールスピード 63.7m/s
打出角 11.3度	打出角 12.9度	打出角 11.2度
スピン量 2529rpm	スピン量 2199rpm	スピン量 2154rpm
オフライン 22.5y右	オフライン 1.4y右	オフライン 12.3y左
キャリー 224y	キャリー 233y	キャリー 231y
総距離 245y	総距離 255y	総距離 257y

スウィングの安定した村上さんはドローヒッターながら6Sでは右に曲がる薄いあたりが出ていたが、リンクレッド5Sではしっかりつかまったドローボールを連発。「5Sは軽いと思いました、結果には大満足です」(村上さん)



HS42m/sの村上さんは
リンクレッド5Sで決まり！
曲がりか小さく
イメージが
出しやすい！

試打方法

ナイスショット7球の平均値。ヘッドはキャロウェイ エリートトリプルダイヤ10.5度(鈴木さん)、キャロウェイ エリート10.5度(村上さん)。ボールはタイトリストプロV1、GCクワッドで計測

重さやフレックスを選べば アベレージはアツタス、 ハードヒッターはリンク とは限らない

どちらが合うのか
アマチュア2名で試打検証
今回はアマチュア2名に協力
いただき、USTマミヤの基幹
ブランド「ATTAS」と「L
IN-Q」から、どちらもシリ
ーズ中でつかまりのいいモデル
「サンライズレッド」と「リンク
レッド」を打ち比べ。どちらが合
うのかを検証した。まずは、抑え
て打ってヘッドスピード45〜47
m/s、野球経験者でパワーのある
鈴木さん。普段は60グラム台の
Xフレックスを使用しているパ
ワーヒッターだ。全体的にしっ
かりとしたシャフトが好みとい
うことで、まずはリンクレッド
の6Xから試打開始。持ち前の
パワーを生かして、当たれば
280ヤードの飛距離が出るも
の、大きく右に曲がるミスも
多い。曲がりを軽減するために、

あえてフレックスをひとつ下げてリンクレッドの6Sに。「野球経験者に多いですが、力が入ったり、打ち急ぐとカット軌道が強くなりますね。ひとつフレックスを下げてみましょう」とUSTマミヤのフィッター・篠塚さん。しなりが大きくなった、少し抑えるイメージで打つと、つかまったフェードボールを連発。曲がりも大幅に減り、より実戦的な弾道に。大きな曲がりには硬いシャフトで力んでいたのが原因か。よりしなりを感じやすい「サンライズレッド」の6Sにチェンジすると「これまで使っていたシャフトよりかなりしなる」と言いつつ、「数値が明らかに良くなりましたね。これなら方向性と飛距離を両立できそうです。この振る感じに慣れてみようかな」と鈴木さん。



HS45〜47m/sの鈴木さんは
サンライズレッド6Sで決まり！
方向性が各段に
良くなりました！

鈴木さん試打結果

6X	6S	6S
LIN-Q RED	LIN-Q RED	SUNRISE RED
ボールスピード 65.1m/s	ボールスピード 64.4m/s	ボールスピード 64.1m/s
打出角 15.7度	打出角 13.0度	打出角 13.5度
スピン量 3253rpm	スピン量 2702rpm	スピン量 2355rpm
オフライン 22.0y右	オフライン 6.2y右	オフライン 12.3y左
キャリー 235y	キャリー 240y	キャリー 244y
総距離 249y	総距離 257y	総距離 264y

オフラインは飛球線に対して左右にブレた量。シャフトを替えるごとに右に切れる薄い当たりからボールがつかまるように。「ボールがつかまった分スピン量が減りました。より安定して飛距離を稼げそうです」(鈴木さん)



アツタス SUNRISE RED

ATTAS RX SUNRISE RED
幅広いターゲット層に向けて日本で誕生。4R〜7Xのラインナップでプレーヤーの力を引き出す

リンク LIN-Q RED

LIN-Q RED EX
アメリカPGAツアー向けに開発されたハードヒッター寄りのモデル。フレックスは5R〜7Xの7タイプ

村上さんは
リンクレッド5Sがマッチ
続いてはHS42m/sでドローヒッターの村上さん。左へのミスを消したいということで、まずは、つかまりが抑え気味のリンクレッドから試打。重量とフレックスは普段使っている6Sを選んだ。すると、左へのミスは皆無になったものの、ハードヒッター向けに開発されたモデルだけに、右へ大きく曲がるスライス気味のボールも頻発。そこで、同じ重量帯でよりつかまりのいい「サンライズレッド」の6Sに変更。すると「こちらのほうが硬く感じますね」と村上さん。USTマミヤのフィッター・篠塚さんによると、「村上さんのように、手元でシャフトのしなりを感じるタイプの方は、中調子のリンクレッドより、手元のしかりした先調子のサンライズレッドのほうが硬く感じる」とのこと。しなりを感じてタイミングを取りやすいのがリンクレッドということ、で5Sに替えて試打を再開。す

るとこれがベストマッチ。中弾道のつかまったストレート気味のドローを連発。「ホームコースのクラブ競技に持つていくなら断然リンクレッドの5Sですね。左右の曲がり幅が小さく、方向性のイメージが出しやすいです。安心感が違いますね」と大満足のフィッティングとなった。ヘッドスピードの速い鈴木さんがサンライズレッド、一般的なヘッドスピードの村上さんがリンクレッド。メーカーの開発コンセプトにとられず、重量帯やフレックスを柔軟に試してみること、より自分に合ったシャフトが選べそうだ。USTマミヤではシャフトのフィッティングも受けられる。興味のある方はぜひ徹底的に打ち比べてみてはいかがでしょうか。